

## 特長 1 汚れに強い『ナノ親水マイクロガード』美しさの持続 (Vシリーズ含む16mm厚商品すべてに該当)

「白」が繰り返すその風景の美しさは、次々に残したい財産です。近年の日本では、家という大きな財産に対して、できたときが一番きれいという認識を持たれ続けてきました。ナノ親水マイクロガードの防汚機能は、我が家の今の美しさを、子どもの代に受け継いでいくのかもしれない。

■ナノ親水マイクロガードとは…  
ナノテクノロジーによりセルフクリーニング機能(防汚機能)のこと。汚れを落とす、または付着しないようにする機能を備えた外装材です。  
※本書では、ナノ親水マイクロガードの製品について、はなはだマークが記載されています。



### ■ナノ親水マイクロガードの特長

●雨が汚れを落とすセルフクリーニング機能  
ナノ親水マイクロガードは、付着した汚れが雨水で繰り返し落とされるセルフクリーニング機能。親水性の効果で、表面に付着した汚れが洗い流されやすくなります。

●日陰だって、夜だって効果を発揮



ナノ親水マイクロガードは、光に関係なく親水性を発揮するので、日当たり面、日陰や夜間、そして季節に関係なく効果が持続します。

●施工直後から効果を発揮!

ナノ親水マイクロガードは、当社工場から出荷された時から防汚機能が発現しているので安心。摩耗等の外的要因がなければ塗膜の耐候性同様の期間、その効果が期待できます。

ナノ親水マイクロガード  
空気中の水分を取り込んで外壁表面に薄い水分子膜を作り、汚れを浮かせて、雨で洗い落とします。



## 特長 2 火災に強い (モエンエクセラード・モエンサイディングLが該当)

### 耐火 4等級 ●「日本住宅性能表示基準」において耐火等級が4等級 (最高レベル)に対応

耐火等級	延焼の恐れのある部分の外壁など(開口部以外)にかかわる火災による火熱を遮る時間の長さ	外壁に要求される構造
4	火熱を遮る時間が……60分以上	耐火構造・1時間準耐火構造
3	火熱を遮る時間が……45分以上	45分準耐火構造
2	火熱を遮る時間が……20分以上	防火構造・準防火構造
1	その他	—

## 特長 3 環境を考えCO2削減に貢献へ (オフセットサイディング) (Vシリーズ含むモエンエクセラードが該当)

ニチハだけが木材資源を原料として有効利用している、窯業系サイディングの外装材メーカーです。

ニチハは、「リサイクル」や「エコ」という言葉もまだ一般的ではなかった時代から木材の高度利用を目的とした商品開発に取り組み、独自の技術により国産木材チップを窯業系サイディングの材料(モエンエクセラード・モエンサイディングW)に用いています。



気候変動枠組条約第17回締約国会議(COP17)等の結果により、「先進国の森林・農地土壌等の吸収源の確保」について「木材製製品が炭素を蓄積・固定していることを評価する」という(国産)木材を最大で輸出を許すことになりました。  
→これにより、「オフセットサイディング」を使用している間は、生産過程で吸収したCO2(●)を固定していると考えられます。  
※森林に固定されるのは炭素(C)の状態ですが、わかりやすくするため二酸化炭素(CO2)で表現しています。



## 特長 4 サイディングのトップメーカー

### トップを走る

ニチハは窯業系サイディング販売量、業界第一位です。

優れた機能性と豊富なデザインバリエーションを兼ね備えた

窯業系サイディング。

今や国内・新築戸建て住宅の外壁の約7割に使用されています。

ニチハは半世紀近くにわたり窯業系サイディングを製造。

窯業系サイディング全販売量の4割を超えるシェアを占め、

業界トップです。

また、トップメーカーとして、

時代に先駆け(1981年～)原材料の無石棉化を実現。

外壁材の端材をセメントの原材料としてリサイクルするシステムの構築や、木材資源の原料としての有効利用(窯業系サイディングメーカーとして唯一)

などを通し、環境配慮型企業として業界をリード。

循環型社会の実現を目指しています。

国内・新築戸建て住宅の外壁材比率



## 特長 5 業界No.1の優れたものづくり

窯業系サイディングで初めて、グッドデザイン賞を受賞



「モエンエクセラード16 キャスティングウッド」が、「2012年度グッドデザイン賞」を受賞。  
「キャストウッド」は、木の風合いを魅力的にみせるため、あえて粗々しく削った鋸目の表情にこだわり、今までにない高意匠の木目デザインを具現化しました。  
ニチハでは、今回の受賞を契機に、「キャストウッド」のみならず、あらゆる製品においてデザインを進化させ、日本の街並みや住空間をいっそう美しくすることに寄与できるよう、優れたものづくりに真摯に取り組んでまいります。

グッドデザイン賞審査委員による  
評価コメント

「本物の木と見紛うこの壁面素材には驚かされた。木の家に惹かれても、木を使うことの許されない状況は少なくない。それでも木に惹かれたい需要に後押しされて、このような技術が生まれ進化してゆくか。経年変化した杉材の表情を上手く表現している。」